

コロナ禍で見えてきた!?

**多文化共生
社会** ♪



外国人受け入れの先進地である



フランス日本の中で外国人労働

者が多く住む地域での、多文化共生の現状と、世界的なコロナウイルスの蔓延で見えてきた課題と取り組みを紹介。その上で、国や長野県の行政は、私たち個人は、どうしていくのが多文化共生社会につながるのかを共に考えます。詳しくは裏面をご覧ください。

9/12

(土)

13:30開場 14:00~16:30

松本市中央公民館Mウイング 3-2

定員 50名

信州自遊塾会員/CTN会員/学生：無料 ・ 一般：500円

当日ライブ配信予定!!

詳しくはホームページをご覧ください。

【コロナウイルス感染対策】会場：定員は半数・入口に消毒剤設置・窓は開放。参加者：マスク着用・発熱等体調不良の方は参加を見合わせてください。

主催：信州自遊塾 協力：NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク)

後援：松本市・安曇野市・塩尻市・信濃毎日新聞社・市民タイムス

【問合せ/申込み】 090-4463-6182(くぼた) 090-4911-8209(まつもと)

信州自遊塾HP<http://www.jiyuujuku.org/>「講座申込フォーム」 or FAX 0263-77-5437 (一般の方は連絡先をご記入ください)

日本は、日本語を話す日本人が住んでいる単一民族の国だと多くの方が思っていますが、多くの国では国籍や人種が違う人が同じ国に住み、普通に暮らしています。今後グローバル化や人口減少が進む中で、日本も同様にさまざまな国や地域の人たちが住むようになっていくでしょう。「多文化共生」とはお互いの文化を尊重して、ともに気持ちよく暮らしていくことです。私たちがそれぞれの国や民族の文化を理解することは、日本の未来のためにも、国際平和のためにもきわめて重要なことではないでしょうか。新しい時代をどう生きるかについていっしょに考えてみませんか？

第3回

コロナ禍で見えてきた?! 多文化共生社会 世界は？ 日本は??

最終回

9月12 (土)

14:00~16:30 (13:30開場)

松本市中央公民館Mウイング3-2



佐藤友則 SATO, Tomonori

NPO法人CTN(中信多文化共生ネットワーク) 理事長・信州大学グローバル化推進センター教授。商社勤務を経て1991年に東京の日本語学校で日本語教師スタート。東北大・大学院に進学し、博士課程途中から韓国に渡り、国立大で3年間日本語ほか指導。帰国して1999年から信州大学に勤務。

今年で信大生活20年目。また、2008年に外国由来の子供の現状を憂う仲間たちと市民団体「CTN(中信多文化共生ネットワーク)」を設立し、理事長に就任。2010年にNPO法人化。発足11年目の現在、CTNは松本市から2つの多文化共生の事業(松本市子ども日本語教育センター&松本市多文化共生プラザ)を委託されるなど広範囲に活動中。2017年多文化共生の活動で長野県知事表彰。



丸山雅秋 MARUYAMA, Masaaki

イタリア国立ミラノ・ブレラアカデミー彫刻科卒。ドイツに1996年まで滞在。現在もドイツと日本で彫刻家として活動。長野県日独協会専務理事。



RUZICKA, David ルジチカ・デイヴィド

イングランド ノッティンガム出身。ケンブリッジ大学卒。信州大学全学教育機構 言語教育センター准教授。20年以上日本に在住している。



李 景煥 LEE, Kyong Hwan

韓国ソウル出身。英国立ロンドン芸術大学映画科卒。幼い頃、両親と東京に4年間在住。信州地域の古代史研究、取材のため3年前に来日。現在は安曇野市金剛寺の広報活動の他、映像クリエイターとしても活躍中。

【第1部】—世界はどうしてる?—

各国の取り組みと現状を知ろう!

コロナ禍の

お話：丸山雅秋さん



かつては移民や外国人を市民として受け入れる事に消極的だったが、2000年代半ばの移民受け入れを機に 制度整備を行ったドイツ。南部の街、フェルバック市の事例を紹介。



お話：RUZICKA, Davidさん

移民の受入れによって 元気になってきた英国だったが、EU離脱で大きな変化を迎えようとしている。今までの取り組みはどうか？



お話：李 景煥さん

韓国北西部にある安山市は多くの外国人が暮らす街。10年前に安山市が多文化特区に指定された当時の背景と現在の状況をレポート。



「多文化主義政策」の先駆けである多民族国家カナダに在住の金 恩姫さんのレポートを自遊塾事務局の松尾 昭が代理報告します。

【第2部】—日本はどうしてく?—

みんながいっしょに考えよう!

お話：佐藤友則さん



コロナ禍で浮き彫りになった問題点を交え、多文化共生の進展に向けての他の自治体の取組を紹介し、今後長野県で「豊かで安定した多文化共生社会」を実現するために何ができるかを考えます。

●フリーディスカッション

- 話してみよう! 自分の気持ち。
- みんなの考え聴いてみよう!
- ほかの国のことも知りたい!
- もっと知りたいこと質問してみよう!

信州自遊塾とは、だれもが参加できる、3.11以降の生き方を学び考える場です。信州を愛する人の中には、それぞれの分野ですばらしい行動を行い、ものを考え、作りだしている人がたくさんいます。「信州自遊塾」はこうした人々のネットワークをつくり、講座・エクササイズ(小旅行講座)などで新しい人間の幸せを、まじめに楽しく、考え、学ぶ場です。活動はホームページでお知らせしています。

※第1回・第2回 の講座レポートはホームページで公開中! 信州自遊塾で検索!!

~これからの人間の生き方を考えよう~

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>